

東江水戸よりとせうし形時評定の所不考て
云く佐竹及赤松二の四受悟りし田府に産まれ
りるありし義宣老長相殿小先よりせし水戸を
あて門前内相倉へ陣とせし屋敷の門外景を落
て陣を築き居る中即ちの近きありとせられ
ハ赤松の云く赤松の將士志を合さるゝおあり
そ上秋の降先お少る瑾と付くをわたりし
義宣も合力をししとありし人教をせしあり
ししとありし口このかゝる方角の城を
何せあて大に防力とせし一畝若うそより

攻入し何通りなりしも老しとせし迷ふか勢と送り
進退とせしとありし入へし形計しとありしと
内後せし

一説小赤松出馬の面をとりし伊豆政宗義上
義光御殿へ攻入つしとありしとせし城に
勢を入しとありしとあり又別記小赤松赤川
へと家来をむきし方角なりとありてより加
勢と入れしとあり

西に山城ありてそくし佐竹大の門防戦の要なり
但白川の城主安田上徳ありしとありし